



IZUMIOクイズ



☆正解だと思う番号を、解答欄にご記入ください☆
 ※正解が複数ある問題もあります

1 常温・常圧で水に溶かすことができる水素の量は？
 ①1.6ppm ②3.3ppm ③2.6ppm

2 「イズミオ」は下向きに保管してお届けしています。なぜでしょう？
 ①取り出しやすくするため。
 ②機械で箱詰めしているから。
 ③水素を逃がさないようにするため。



3 「イズミオ」は、製造指定工場 株式会社シエフコで製造していますが、認定を受けているのは次のうちどれ？
 ①健康食品GMP
 ②FSSC22000
 ③ISP20000

4 容器のアルミニウムが溶けだしていないか心配です。検査をしていますか？
 ①アルミニウム溶出試験を実施し、アルミニウムが検出されていないことを確認しています。
 ②アルミニウムの部分は水素水に触れておらず、溶けだす心配はないため、検査はしていません。

5 「イズミオ」を製造する際には、あるものを除去しています。何でしょう？
 ①窒素 ②酸素 ③水素

6 ppmとは何でしょう？
 ①水素の重さを表す単位
 ②圧力を表す単位
 ③割合や濃度を表す単位

7 1ppmと1000ppbどちらの濃度が高いでしょう？
 ①1ppm ②1000ppb ③どちらも同じ

8 「イズミオ」の酸化還元電位は？
 ① -450～-600mV ※
 ② -570～-700mV ※※出荷時

9 膜溶解法とは、どんな製法？
 ①気体は通すが液体は通さない特殊な膜を使用し、水に水素を溶かし込む技術。
 ②水の中に電極板を入れ、電気分解で水素を発生させる技術。
 ③マグネシウムと水を化学反応させて水素を発生させる技術。

こたえ・解説は裏面です。

解答欄

Q.1	Q.2	Q.3	Q.4	Q.5	Q.6	Q.7	Q.8	Q.9



答え合わせ



ナナちゃん

	正解	解説
1	①	水素の常温・常圧下における最大溶存量は1.6ppmといわれています。つまり、これが常圧で水に水素が溶ける最大値ということです。 「イズミオ」は、特許製法を始めさまざまな工夫により、水素溶存率充填時平均3.3ppmを実現しました。
2	③	キャップを下向きにすることにより、キャップ部分からのわずかな水素放出も防ぎ、高い溶存率をさらに長期間、維持できるようになります。
3	①②	栃木県鹿沼市の製造指定工場は、「健康食品GMP」※1に適合し、さらに「FSSC22000」※2を取得した先進施設で製造されています。 ※1 健康食品の製造管理および品質管理に関する基準です。この基準に従った作業と適切な品質チェックを実施することで、品質の良い製品を製造しています。（鹿沼工場・熊本工場） ※2 食品安全認証財団FFSCが開発した食品安全のための国際規格です。この厳格な規格に沿った製造・管理を行うことで、食品の高い安全性を確保しています。（鹿沼工場）
4	①	第三者機関にてアルミニウム溶出試験を実施し、アルミニウムが検出されていないことを確認しております。検査後は、会報誌やホームページを通じて、溶けだしていないことをご案内しています。 また、「イズミオ」のアルミパウチは4層構造になっており直接アルミニウムが水素水に触れていません。
5	①②	水の中には、窒素、酸素、二酸化炭素などの気体がたくさん溶けているので、新たに気体を高濃度で溶かし込むことはできません。しかしながら、「イズミオ」は膜溶解法と呼ばれる独自の技術を用いて、水中の気体を除去し、その後に水素ガスを高圧で溶存させます。
6	③	ppmとは、割合や濃度を表す単位で、「イズミオ」では水素濃度を表す単位として使用しています。 1.0mg/L = 1.0ppmなので、「イズミオ」は3.3mg/L = 3.3ppm※3となります。 ※3 充填時平均。充填時とは、製造工程でアルミパウチに充填された時点を指します。
7	③	ppm = 100万分の1、ppb = 10億分の1、ppt = 1兆分の1の意味があり、単位が違いますが、どちらも表す濃度は同じです。 例：1ppm = 1000ppb
8	② ※出荷時	「酸化」したものを元に戻すことを「還元」といい、2つの力を数値化したものが「酸化還元電位」です。水道水など普段口にするほとんどの飲み物がプラス側なのに対し、「イズミオ」はマイナス側。つまり「イズミオ」も還元力をもっていることとなります。
9	①	水素をより多く含ませるため、膜溶解法で水中の気体を取り除いてから、従来よりも高い圧力で水素を入れることで、たくさん水素を溶かし込むことができます。 2016年12月、「イズミオ」の指定工場である株式会社シェフコが、水素水の製造技術に関する特許を取得しました。

製品に関してご不明な点は製品相談室をご利用ください。

製品相談室



0120-936-329

平日10時～17時（土・日・祝日休み）

